

いずみの園そのだより

vol. **79**
夏季号
2020.9.11



信望愛 それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大なるものは愛である。 コリントの信徒への手紙113:13

基本理念
神と人とに仕えるキリスト教の愛と奉仕の精神を基本理念とする
●アメニティ(快適主義) ●ヒューマニティ(人間主義) ●ローカリティ(地域主義)

わたしたちも、 次の“挑戦”はじめています。



特別養護老人ホーム「オンライン面会」の様子

心の付加価値



社会福祉法人九州キリスト教
社会福祉事業団 理事
社会福祉法人 基督教キリスト教事業団
特別養護老人ホーム シオンの園 施設長

多田 満

お客様への支援を行う仕事では、よく、「接客サービス」という言葉で表現されます。「接客」と「サービス」にはそれぞれ違った意味合いがあり、「サービス」とは日本語で訳すと「奉仕する・仕える」という意味で、お客様のことを考えた気遣いをし、尽くすことを意味します。また、「接客」とはお客様と接すること、商品に心の付加価値を付与といった意味合いを持つ行為となると思います。

接客の対応や考え方も様々で、利益だけを優先し言葉巧みに商品を売りつけるだけの対応もあれば、心地よい時間を過ごしていただきながらお客様の気持ちを考慮して、本当に必要なものをお勧めするための接客サービスが存在します。接客サービスは相手がほしがっているものを売れば終わりということであれば、お金だけ受け取れば誰にでもできる仕事です。しかし、そこに接客サービスの心地よさや快適な時間がつくられることによつて、高付加価値の心のサービスが与えられるものと考えます。

「超高齢社会」となり様々な福祉サービスの整備も進み、数多くの事業所が存在します。サービス内容においては、法律に基づく制度として運営されているため、事業の目的や利用料金、一定レベル以上のサービス内容はある程度統一化されている中で、地域にある福祉施設から利用する施設を選択する際、接客サービスを通じて施設のこのような付加価値を評価して選ばれていることと思われま

す。
いずみの園では、アメニティ(快適性)、ヒューマニティ(人権尊重)、ローカリティ(地域密着)をサービスのコンセプトとして取り組んでおります。お客様のことを常に考え、何を求めているのかを明確にし、それ以上に満足できる「接客サービス」を提供し選ばれる施設としての役割を果たし続けられるように共に歩んでまいりたいと思っております。

理事会及び 評議員会の開催状況報告

本年6月に開催予定であった2020年度第1回理事會と2020年度定時評議員會について、昨今の新型コロナウイルスによる行政からの要請等を受け、前回と同様、郵送した書面上でご審議いただく形式をとりました。

はじめに2020年度第1回理事會では審議事項として、

第1号議案 2019年度事業報告(案)に関する件

第2号議案 2019年度決算報告(案)及び監事監査結果に関する件

第3号議案 資金融資に関する件

第4号議案 各規程の改正に関する件

第5号議案 評議員選任・解任委員の選任(1名)に関する件

第6号議案 2020年度定時評議員會開催日程及び議案に関する件

議案に関する件

以上6議案をまとめ各理事・監事に郵送し、確認していただいた後確認書・同意書に署名して返送していただきました。

同様に2020年度定時評議員會についても、

第1号議案 2019年度事業報告に関する件

第2号議案 2019年度決算報告及び監事監査結果に関する件

以上2議案を郵送、確認の後同意書にサインし返送していただきました。全ての同意書及び確認書の返送を確認し、いずれの議案も承認を受けたとして、2020年度最初の理事會・評議員會が終了となりました。

(法人本部事務局)

ウェブ会議に関する 取り組みについて

中津総合ケアセンターいずみの園では、昨今の新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、園内の會議をオンライン上で実施すべく兼ねてより取り組んでおりました。機材の調達からネット環境の整備、會議の運営方法の研究等を少しずつ進めていき、6月25日(木)に、部長以上の職員が参加する「部長會議」を当園としてはじめてウェブ上で開催しました。その後、管理職以上の職員が30人ほど集まる會議や、もともと小規模の部署ごとの會議、また外部の方が関わる會議や研修の場において、ウェブ會議のシステムの活用が進んでいます。

新型コロナウイルスの流行により、私たちは「新たな生活様式」を受け入れる必要に迫られました。実際に中止になるイベントや會議、研修等も多く、現在も窮屈な思いをする場面も多々あります。そのような状況の中でも業務が遅滞することの無いよう、ウェブ會議のような仕組みのさらなる研究に励んでいきます。

(経営企画課)



部長會議の様子

人事関係

2020年4月2日以降

① 異動役職者

9月 1日付 日高ひろみ 介護保険サービスセンター(今津) 主任
9月 1日付 岩尾 文子 介護保険サービスセンター 主任

② 異動一般職

6月 1日付 橋内 毅敏 かきせグループホーム 介護員
7月 1日付 大島加奈美 いずみの丘エステル 生活支援員
8月 9日付 高原加津子 介護課 栄養アドバイザー

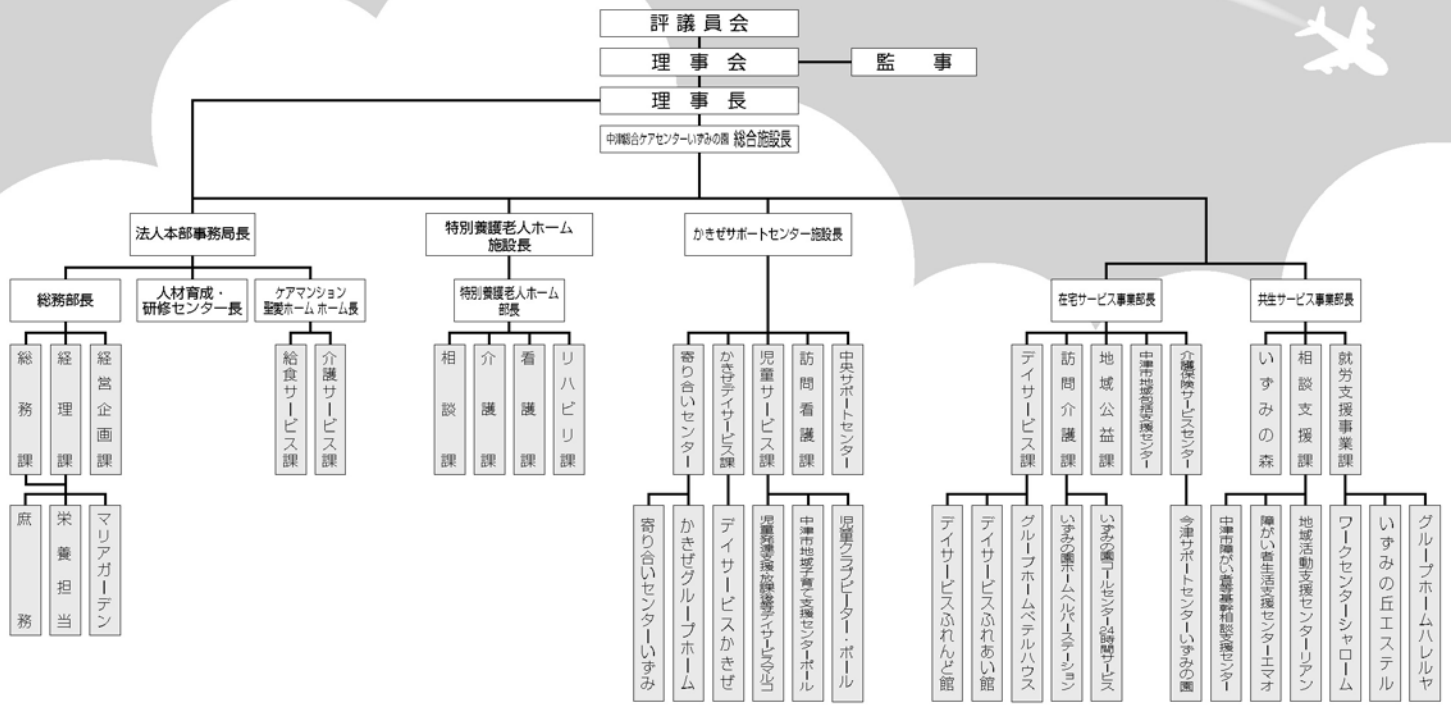
③ 新規採用職員

4月 6日付 野崎 恵美 中津市障がい者等基幹相談支援センター 事務員
5月 1日付 島ノ江良太 介護課 介護員

5月 1日付 住本 麻美 介護課 介護員
5月 1日付 澤上 晃児 介護課 介護員
5月 11日付 柏木 積 介護保険サービスセンター 介護支援専門員
6月 1日付 後藤 豊美 ふれあい館 看護師
6月 1日付 笹原 和則 介護保険サービスセンター 介護支援専門員
6月 15日付 前平 章嗣 ふれんど館 介護員
7月 1日付 石田美恵子 総務課・クリニック兼務 事務員
7月 1日付 川上 義法 介護課 介護員
8月 1日付 草地 智彦 介護課 介護員
8月 1日付 田向 慶子 看護課 看護師
8月 24日付 大森愛由美 ワークセンターシャローム 生活支援員
9月 1日付 小原和歌子 ベテルハウス 介護員
9月 1日付 高倉みどり いずみの丘エステル 生活支援員
9月 1日付 丸岡かおり ワークセンターシャローム 生活支援員

(以上2020年9月1日まで)

中津総合ケアセンターいずみの園 組織図 (2020年4月1日現在)

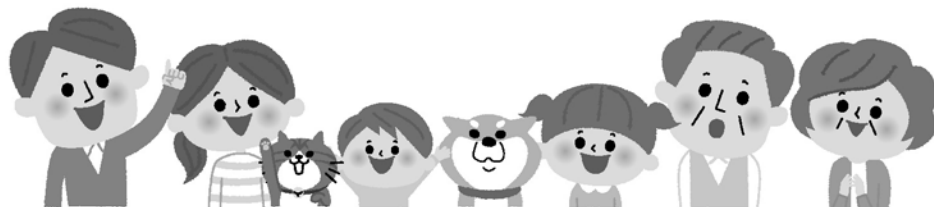


2020年度「中津総合ケアセンター いずみの園」事業計画重点事項

*2020年事業計画書より抜粋

総務部 総務課 ①業務の改善、効率化 ②職員のW・L・B改善 ③本館建築に向けた取り組み 経理課 ①事務の省力化・事務スピードの向上 ②経費削減の意識 ③予算執行のフィードバック 栄養担当 ①安全でおいしい食事の提供 ②本館建築準備委員会の取り組み ③利用者ニーズの把握 マリアガーデン ①発達障がいの研修 ②聖愛ホームに園児作品の掲示 ③園外保育の充実 経営企画課 ①福祉のまごづくり構想実現に向けた取り組み ②人材確保や育成、働きやすい環境づくりに向けた取り組み ③広報活動、対外活動による「いずみの園」ブランドのアピールに向けた取り組み、広報委員会機能の強化	かきざサポートセンター 寄り合いセンター ①専門性のある人材の育成 ②登録者及び適正利益の確保 ③地域との交流機会の確保 かきざグループホーム ①稼働率の維持と適正利益の確保 ②求められる技術や知識の獲得 ③地域行事への参加や地域住民との交流 デイサービス課 ①安定した稼働・適正利益の確保 ②デイかきざ事業検討会議 ③不適合サービス等発生件数減少 児童サービス課 ①保護者との連携 ②放課後児童クラブや支援センターや障がいのない子どもとの活動 ③障がいへの理解と専門性の向上 子育て支援センターホール ①子育て親子の支援と広報 ②出張広場開催・特別行事開催 ③相談・支援者の為の専門性と質の向上 児童クラブビーター・ホール ①共生型空間を活かした健全育成 ②保護者との連携 ③サービスの質の向上 訪問看護課 ①医療依存度の高い方の迅速な受け入れと様々なニーズへの対応 ②サービスの質の向上(人材の育成) ③収入の安定化を図る 中央サポートセンター ①安定した稼働・収入 ②在宅生活維持へのサポート ③介護度の改善	地域公益課 ①CSWの役割や取り組みの周知 ②就労準備支援 対象者の就労 ③新たな社会資源の開発・システムづくり 地域包括支援センター ①包括別地域ケア会議での検討プラン数の達成 ②認知症多職種共同研修の参加人数の達成 ③医療介護連携事例検討会議の開催 介護保険サービスセンター ①医療介護・多職種連携研修への参加 ②マネジメント力向上のための研修会への参加 ③看取り・癌末期支援実件数の達成 今津サポートセンター ①多職種連携との研修(医療連携・他事業所勉強会)への参加 ②マネジメント実践力向上を目標とした研修会の取り組み、参加 ③今津校区の団体組織との交流を目指した会議等への参加・開催
ケアマンション 聖愛ホーム 介護サービス課 ①入居者のニーズに即したサービス提供体制の整備 ②稼働率の維持と適正利益の確保 ③地域交流の促進 給食サービス課 ①入居者の食事ニーズの把握による満足度向上の取り組み ②安全安心な食材の確保 ③働き方改革に伴った職場作りと人材育成	在宅サービス事業部 ふれんど館 ①収入確保 ②職員の言葉遣いの改善 ③ワークライフバランス ふれあい館 ①年間売り上げ目標の達成 ②学習療法をベースとした活動のアピール ③研修等の参加からの報告 ベテルハウス ①平均稼働率97%の維持 ②認知症への理解(専門知識)、技術の向上内部研修 ③地域との関わり(外部交流) 訪問介護課 ①安定した収入確保 ②人材確保 ③人材育成	共生サービス事業部 いずみの森 ①入居者との交流を通し満足度の推進 ②施設の広報 ③いずみの森の環境整備 中津市障がい者等 聖愛相談支援センター ①共生社会の実現 ②地域の相談支援体制の強化の取り組み 障がい者生活支援センターエマオ ①新規利用者の確保 ②相談支援の質の向上・人材育成 中津市地域活動支援センターリアン ①余暇行事の企画・運営 ②他世代間交流の場の提供 ③普及啓発の実施 就業支援事業課 ①短期作業受注による作業会計収入の確保 ②利用率向上による福祉会計収入の確保 ③余暇活動及び地域との交流機会の確保 いずみの丘グループホームハレルヤ ①短期入所利用者登録増 ②余暇支援の充実 ③グループホーム増床の調査研究

withコロナの 時代の中で



各種研修・採用活動など



法人本部事務局長
総務部長

堂本 高雄

Withコロナの時を迎え、私たちの仕事への取り組み方が目まぐるしく変化を迎える事となりました。全ての研修・会議は対面で行うことが当たり前の時代から、感染症の拡大と共に会議・研修が相次いで延期↓中止↓オンラインと変化し、ウェブの世界に突入しました。しかし気が付いた時には時既に遅し、オンライン会議に必要な機材は量販店から姿が無くなっていました。辺りを見渡し、職員の知恵とスキルと今ある物でなんとか30名規模の会議・研修を開催できる体制を構築する事ができました。

胸を撫で下ろす間もなく、通常の求人活動が出来ない事態に直面し、初のオンライン就職説明会を開催する事となりました。学生の皆さんからも新型コロナウイルス感染症により動きが取れない中でのオンライン就職説明会は助かります、との声も聞かれています。8月までは私たちが手探りのため開催日時を設定していましたが、

9月からは「いずみの園魅力発信」のため、学生さんの希望日に沿った随時開催と致しました。是非、ご参加ください。



聖愛ホーム長の立場として



ケアマンシヨン聖愛ホーム
ホーム長

尾崎 正史

今年1月の入居者懇談会で、中国では新型コロナウイルスが流行していること、17名の方が亡くなられたことやオーストラリアの森林火災、洪水についての話をしました。この時は大きな危機感を持つこともありませんでしたが、あれから半年以上がたち、徐々に感染が拡大し、聖愛ホームでも施設のリスク管理として2月に第1回目の緊急連絡会を行い、入居者の皆様に外出や面会等の自粛と毎日の体調確認をお願いしました。

緊急事態宣言は解除されましたが、地域での感染状況に応じて、聖愛ホームでは段階的な対応を実施しております。高齢者施設ではインフルエンザや新型コロナウイルス等の予防や発生時の対応については経験を重ねていますが、新型コロナウイルスは誰も経験したことのない相手で様々な情報が人を不安にさせている状況が続いています。

私たち聖愛ホームの職員の使命は入居者50名の命を守ることにあります。その為に出来ることを入居者の皆様と相談しながら今後も取り組んで行きたいと思えます。社会的距離を保ちつつ、心の距離は離れることなく、お互いが寄り添える聖愛ホームでありたいと願っています。

かきぜサポートセンター長として



かきぜサポートセンター
施設長
谷口 弘美

かきぜサポートセンター内の「福祉の里センターサマリア館」は2015年に開所しました。建物の中に、子育て、児童、障がい児者、高齢者の事業を行い、介護、医療、療育、居場所とそれぞれの機能を持ち、共有スペースでは、子育てで親子と高齢者の交流や高齢者と児童の交流等、多世代間がお世話する側、される側に分かれることなく、共に過ごす場所として、事業を実施していました。

事業開始から5年が経過し、誰でも集える子ども食堂などの新たな事業を開始し、さらなる展開の準備を行っていた矢先の今年1月に国内初の新型コロナウイルス感染者が確認され、毎日全国で感染者が報告されています。

未知の感染症である新型コロナウイルスにより、誰もが経験したことがない緊急事態宣言発令、全国一斉中学校休校等、混乱の中児童クラブ等の終日開所や子育て支援センター事業の休止、高齢者の通所サービスの利用控え等誰もがどのように過ごせばよいか分からず、安全に利用していただき、事業を継続するにはどのようにすればよいか、感染症予防の指針や取組みを職員と考え、周知していきました。

現在もコロナウイルスの収束そして、終息が見えない中、コロナと共存していく為に新しい生活様式を参考にサービス内容も工夫し、各事業において役割を果たしていきたいと思えます。



コロナ禍での取り組み



オンライン面会を行っています

中津総合ケアセンターいずみの園では入居系の施設を中心にオンライン面会を行っております。新型コロナウイルスの流行を受け、いずみの園では長らくご家族の面会をお断りしておりました。そのような中で、園内のインフラ整備も少しずつ整ってきましたので、ご家族にお声掛けしたところ、数組のご家族の方が参加してくださいました。コロナ収束の出口は未だ見え、皆様には今後ともしばらくご迷惑をおかけすることになると思いますが、これからさらにこの取り組みを進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



特養にてオンライン面会実施中の様子

オンライン就職説明会を行いました

前項の「各種研修・採用活動など」の部分でもふれましたが、来春卒業の大学生・短大生・専門学校生対象に「オンライン就職説明会」を実施しました。写真に取り上げた日には計3名の学生にご参加いただき、約30分間、いずみの園の紹介や質疑応答を行いました。このコロナ禍の中で十分な就職活動が行えず困っているという学生の声を受けて、急遽の開催でしたがご好評をいただくことができました。



オンライン就職説明会の参考画像

永眠者追悼行事について

毎年8月には、中津総合ケアセンターいずみの園内の入居系施設をご利用されている方で、この1年間にお亡くなりになられた方の追悼記念行事を行います。またお盆の時期には、近隣の地区と合同で盆踊りを行います。そのいずれも中止となりました。今年のお盆期間中は、普段研修で使用しているスペースに簡易的な祭壇を設け、そちらで永眠者へ哀悼の祈りを捧げました。



会場の風景



with コロナの時代の中で

職員さんに聞いてみよう!

理学療法士

ちゃんに聞いてみた!!



特養事業部リハビリ課
課長 高倉 哲也

第4話

「ノリリフティングケア推進施設に登録されました」

2020年4月1日付で、大分県からの依頼によりノリリフティングケア推進施設（以下推進施設）として特別養護老人ホームいずみの園に登録されました。ということで、第4話目となる今回は「推進施設の役割」についてのお話をさせていただきます。

大分県は、2018年度から県内介護事業所向けに、ノリリフティングケアの拡散・定着による「介護労働環境の改善」を目的とした普及促進事業が展開されています。当園は、昨年度本事業に参加し、1年間かけてノリリフティングケア導入に向けた準備を行ってきました。推進施設登録までの流れとしては、新たにノリリフティングケアを導入した施設の中から、推進施設として活動可能な施設に対して、県が協力依頼をかけるという流れとなっています。

2018年度から今年度にかけて、大分県に登録されている推進施設は、当園を含めて10施設となります。以下に推進施設の業務内容について記します。

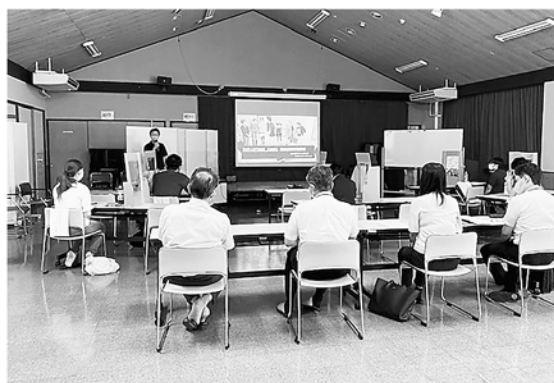
1. 推進施設における実地研修の実施

- (1) 施設内見学 施設環境、ノリリフティングケア実施場面の見学等
- (2) 講義 スタッフ意識改革・技術習得、職場内の環境整備、ノリリフティングケア定着へのマネジメント等について
- (3) 課題検討 研修参加者からの質問、課題等について指導・助言を行う。

2. ノリリフティングケア新規取り組み施設における実地研修の実施

- (1) 施設訪問 新規取り組み施設の見学、ノリリフティングケア導入に係る目的・目標設定、身体の使い方の習得指導を行う。
- (2) 実地研修 第1部
推進施設指導者が、新規取り組み施設の教育担当者等にノリリフティングケアにおける福祉機器の試用方法等の指導を行う。
- (3) 実地研修 第2部
現場職員への伝達講習を行う際に、推進施設指導者が適宜、助言・指導を行い、新規取り組み施設のケアマネジャーの育成を図る。

8月12日（水）、推進施設としての初仕事があり、新規導入を検討している県内3施設を受け入れる実地研修が当園にて開催されました。研修内容としては、当園におけるノリリフティングケアの基本方針について市川施設長に講話していただきました。その他には、活動内容や施設内環境整備、活動実績や課題など、座学だけでなくグループ討議や福祉機



器・用具体験を実施しました。コロナ禍において研修に参加する施設側も、受け入れる我々も双方ともにヒヤヒヤしながらの研修会だったのですが、参加されたどの施設職員とも積極的な意見交換ができるなど、大きな問題なく無事に終えることが出来ました。参加された各施設にとって、何か一つでも得られるものがあればと願います。

最後に、推進施設という大役を引き受ける当園の覚悟について。
施設長曰く「ノリリフティングを導入しているという看板・旗を掲げることで、後に引けなくなる。退路を断つ。やらなきゃいけない環境に自らの身を置くということが、言葉先行になって浸透・継続できなかった過去の成長に繋がる。」との意向がありました。

さて、今回は若干堅めの内容でしたが、次回、ノリリフティングケア推進施設として力を入れなおした当園の活動実績についてお知らせできればと考えています。



ノリリフティングケア推進施設研修会の様子



ここでは、各事業所の
“魅力”や“こだわり”を紹介します。
いずみの園の内側を
少しでも知っていただければ
幸いです。

私たちの魅力

Vol.2

いずみの園 デイサービスセンターふれあい館

定員：12名 設立：1994年4月



ふれあい館は、「認知症対応型通所介護」の事業所です。主に認知症の方を中心に
ご利用いただく少人数のデイサービスです。ふれあい館の建物は一般の住居を改
装し、普通の家に近い雰囲気となっており、ご利用される方は「友人の家に遊びに行
くような気持ちで」気軽にお越しいただけます。日中の活動では、体操や手工芸など
の他に、外部奉仕やボランティアの方も来園され、踊りや歌、演奏会を行っています。

現在、ふれあい館では「くもん学習療法」をベースにおいたサービス展開を行って
います。学習療法とは、ご利用者に合わせた学習教材（計算や音読を中心とした教材）
を使用し、軽度のうちから学習療法を開始することで「脳機能の維持」「認知症（物忘れ）
の進行を緩やかにする」効果があるとされています。ふれあい館でも、約15分程度の
学習を設けていますが、学習の時間はご利用者と職員とのコミュニケーションの場でも
あり、共に笑顔になれる大切な時間として取り組んでいます。ふれあい館では、ご利
用者が住み慣れた地区や家でいつまでも過ごしていただけるように、「一人ひとりに
寄り添うケア」をモットーに、日々業務に取り組んでいます。

いずみの園フェスタ2020 中止のお知らせ

日頃よりいずみの園の働きに多大なる
ご支援、ご協力いただき感謝申し上げま
す。
さて、表題の件につきまして、本年初
頭より問題となっている新型コロナウイルスイ
ルス感染症は、現在も世界中で猛威を振
るっており、そしていずみの園が所
在する大分県中津市及びその周辺市町村
にも感染者が報告されるなど、未だ収束
の気配を見せておりません。
そのような状況下において、参加者や
スタッフの健康及び安全を最優先に考慮
した結果、誠に残念ながら今年度のフェ
スタ開催を中止させていただきます。本事
業について、振替開催の実施も予定して
おりません。ご理解のほどよろしくお願い
いたします。
中津総合ケアセンターいずみの園

編集後記

「特別な夏」

友人との会話の中で「今日の会議『リスケ』になっ
てさあ」と言われ、何のことか分からなかったのだ
ですが要するに「リスケジュール」日程再調整になっ
た、ということなんだそう。また別の知人との会話
の中で「わたし『フツ軽』かる」なんて！と言われ、
肥料かな？と思いましたが要するに「フツ軽」ワッ
トワークが軽い」という略語なんだそうです。その
略語の是非はともかく、なにより初めて聞いた言葉
を否定するのではなく、ひとまず受け入れ、自分の
ものにしていく気持ちが大切だと感じました。

今年の夏は、色々な意味で「特別な夏」でした。
筆者自身の予定も、その大半がリスケとなりました。
新型コロナウイルスの流行は世界中で無数の「変化」
をもたらしましたが、その変化をひとまず受け入れ、
フツ軽に、日々生活していきたいと考えています。
うーん、フツ軽はまだ自分のものにできていな
いかなあ。
(義)

災害への備え



ケアマンション聖愛ホーム課長
防災委員長
橋田 要介

いずみの園防災委員会では、定期的に委員会を開催しながら、年2回の総合防災避難訓練を計画・実施し防災に取り組んでいます。今年も新型コロナウイルスの影響で様々な活動に制限を設けざるを得ない状況ですが、火災や自然災害はコロナに関係なくやってきます。そのため、防災委員会では各部署での定期的な火災予防チェックリストの実施を基本に、防災備蓄倉庫の維持管理や、避難訓練も規模を縮小して予定通り実施しました。

今年7月の豪雨災害でもそうですが、近年は想定を超える災害の発生頻度が高くなっています。人は危機的状況に直面すると、「大したことにはならないだろう」「自分だけは大丈夫」という心理が働いてしまい、避難や危機対応が遅れがちになるのだそうです。これを「正常化の偏見」と呼ぶそうですが、私たちも「今まで大丈夫だったから…」と考えず、今できる最大限の備えをし、いざ災害に直面しても迅速な行動に移せるよう、日頃から準備をして防災・減災に努めてまいります。



今年の訓練の様子

#いずみの園photo

いずみの園で「Facebook」「Instagram」に掲載した写真を紹介していきます。



中津城
寄り合いセンター外出



Instagram開設1周年記念



Instagram「いいね」数暫定1位の投稿



実際の投稿は動画です



マリアガーデンお楽しみ会



Facebook



Instagram



FacebookやInstagramの「いいね」「フォロー」お待ちしております！スマートフォンの方は上記のQRコードから読み込ませてください！



中津総合ケアセンターいずみの園 オンライン就職説明会 開催のお知らせ

中津総合ケアセンターいずみの園では、来春卒業予定の大学生・短大生・専門学校生に向けた「オンライン就職説明会」を実施しております。開催は参加される方の希望に合わせ随時実施予定！まずはお問い合わせください！

詳しくは、いずみの園のホームページをご参照ください！

お問い合わせは TEL 0979-23-1616 (代) いずみの園 検索

スマホの方は
こちらのQRコードより

